

## 令和5年度 学校教育アンケートの結果について

平素より本校の教育活動の推進にご支援ご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、11月に実施しました「学校教育アンケート」では、ご多用の中、多くの貴重なご意見をいただきありがとうございました。つきましては、アンケートの集約が済みしましたので、結果についてお知らせいたします。今回いただいたご意見を参考に改善に努めてまいります。今後とも、ご協力の程よろしくお願いいたします。

なお、アンケート結果は令和3年度～5年度の3年間の評価をグラフ化して示しています。

### 令和5年度 学校教育アンケートの結果より

#### 1 「知」に関する設問について

①については、児童、保護者の「大変そう思う」の上昇傾向が続いています。教職員は昨年より10%以上上昇し、2年前の水準に迫っています。②についても児童、保護者は昨年度より上昇しています。③については児童は上昇していますが、保護者は横ばい、教職員は下降しています。④では児童は上昇するも、保護者の認識は下降傾向にあります。引き続き、朝学習の充実等で基礎・基本の定着を図り、ギガタブの活用を充実させ個別最適な学びの実現を目指し、「くり返しくり返し学ぶ」子どもたちを育てていきます。併せて家庭学習のご協力を引き続きお願いしたいと思います。また、学校での取組をよりよくお伝えするために、学校だより・学年だよりの充実を図るとともに、懇談会や個人面談等でご家庭との連携を深めていけるよう努めます。

#### 2 「徳」に関する設問について

⑤⑥について、児童、教職員はこの3年で最も高いものの、保護者は3年間で最も低い数値となりました。

⑦⑧については、児童、保護者、教職員ともにこの3年間で最も高い数値となりました。楽しく学校に通い、誰とでも仲良く過ごせていると感じている児童が増えていますが、一方で「そうは思わない」と回答している児童の気持ちにしっかりと寄り添い、保護者の方のご不安やご心配に引き続き耳を傾けていきたいと思えます。挨拶については、人間関係の基本であり、本校が大切にしている取り組みです。学校教育活動全般を通して挨拶や温かい声かけのよさを実感できるよう教職員一同声かけを心がけ、本校の生徒指導スローガンである「登校わくわく 学校いきいき 下校にここにこ」の実現に努めます。

#### 3 「体」に関する設問について

⑧⑨のどちらも「大変そう思う」児童、保護者、教職員の数はこの3年間で最も高い数値です。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、教育活動に制限がなくなり、運動に取り組む環境が整ってきたことも一つの要因といえます。引き続き、休み時間での外遊びを推進するとともに、日々の教科体育だけでなく、特設運動部活動や体育委員会主催の活動を充実させ、運動の楽しさを味わえるようにしていきます。

⑩は横ばい、微増傾向、⑪は下降・横ばい傾向です。基本的な生活習慣の定着については、毎日の指導、声かけを継続していきます。

⑫については、児童、教職員とも上昇しているものの、保護者の評価は下降しています。この3年間の傾向として、児童と保護者・教職員の差が大きい状況が見られます。安全に対する自覚や意識の温度差が大きいことは安全・安心な学校生活にとって不安要素です。この結果については危機感をもって受け止め、学校でもご家庭でも機を逃さずその都度、指導を継続していく必要があると思えます。

### 今後の取組（重点）

#### 1 「知」に関する取組

- (1) 児童自らが進んで学習（読書を含む）に取り組めるように、引き続き、課題改善の視点を基に、よさ（強み）を伸ばす視点をもち、基礎的・基本的な力が身に付くような指導の日常化を図る。
- (2) 学習活動のさらなる充実を目指して、ICTの効果的な活用を学校全体で推進する。
- (3) 教師自らが授業力・指導力を向上させるために研鑽を積むとともに、児童に向き合う時間を確保することを目的とした教職員の働き方の見直しを継続する。

#### 2 「徳」に関する取組

- (1) 希望をもって登校し満足して下校できるよう、「活躍の場」「充実感・達成感」「自己有用感」をキーワードに、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）を意識し、教育活動を継続的に改善していく。
- (2) 友達や自分を大切にできるよう、道徳科を核とし「相互理解・寛容」などの道徳的実践力の育成に努める。
- (3) 情報モラル教育、情報リテラシー教育の充実にも力を入れていく。

#### 3 「体」に関する取組

- (1) 体力の向上だけでなく、生涯にわたってスポーツに親しむ態度の育成を目指して、教科体育の充実を図る。
- (2) ギガタブの活用や委員会活動等を充実させるなど、児童自身からも発信できるよう環境を改善していく。
- (3) 安全教育や健康教育、食育について、安全主任や生徒指導主任、給食主任・栄養教諭を中心に、学校全体で組織として改善に取り組む。

※自由記述には、学習指導や生活指導、学校支援体制、運動会、学校からご家庭への連絡のあり方、通学路などについてのご意見をいただきました。教職員で共有し真摯に受け止め、今後の学校運営に生かしていきます。